



池田元久のこれまでの実績(一部)

池田元久のホームページから

アドレス www.m-ikeda.com

道志村ゴルフ場計画を断念に追い込む

横浜の水源地である山梨県の道志村にゴルフ場を作る計画が明るみに出て、池田議員は予算委員会などでこの計画をめぐる疑惑を追及しました。その結果、村長選挙で計画推進派を破ることができ、'94年4月、ゴルフ場計画を断念に追い込むことができました。

道志川は、他の河川が汚染される中今や“山梨県随一の清流”といわれるようになりました。



金融再生法を立案、成立

金融再生計画を自ら執筆し、これをもとに他の野党2党にも呼びかけて金融再生法4法案を提案。粘り強い折衝と国会答弁を重ね、ほぼ原案通り'98年10月成立させました。すぐに長銀と日債銀に適用され、両行は破綻と認められた後、一時国有化方式によって混乱なく処理されました。

これにより、最大の課題であった銀行危機の対応策を中心にセイフティネットを整えることができました。また、バブルに踊ったリース会社等の5200億円もの借金を公的資金で棒引きにするという、不公正な長銀処理策を撤回させました。

このあと、自自公3党は基準の甘い法律を成立させ、公的資金の投入は最小にするという再生法の原則に反して銀行の救済に公的資金を投入しました。



イラクで人質の解放を交渉

'90年9月、イラクのクウェート占領後、空域封鎖の始まった日に同僚議員とバグダッドに入り、多数の日本人を含む人質の解放を求めて交渉。その後、人質が解放されるきっかけをつくりました。



カルザイ大統領と初の会談を実現

'01年12月、アフガニスタン戦争の直後難民キャンプの支援をしたあと、人脈を駆使して国連機をチャーターし、陥落直後のカブールに入りました。そして、外国の議員として暫定行政機構成立後初めてカルザイ議長(現大統領)と会談し、

復興への支援を約束しました。



金融庁への大蔵省の関与をなくす

'97年5月行革特別委員会で、新設される金融監督庁の仕事に対し、大蔵省が細かい点までくちばしを扶めることを明らかにしました。これに対して橋本首相は、「不本意なものがある。よきご注意を頂いた」と脱帽。そのあとの行政改革会議で、大蔵省の関与は金融庁に移行した段階でなくすことを決めました。

資産査定厳格化で金融行政をリード

日本の銀行の資本が税務会計上の操作でかさ上げされているだけで、実際はぜい弱であることを予算委員会や雑誌論文でいち早く指摘しました。これにより、政府は時期を遅らせたものの、この「繰り延べ税金資産」を圧縮することになりました。

個人保証の改革 一步を踏み出す

中小経営者を悩ませ激増する自殺の大きな原因となっている個人保証の改革を提言してきました。こうした提言もうけて、政府の法制審議会は年明けにも議論を始め、'04年中の改革法案の提出をめざすことになりました。



■横浜事務所
〒241-0022 横浜市旭区箱ヶ崎2-30 相模船橋駅前1分
TEL (045) 371-1000 FAX (045) 374-0100

**ボランティアを
やってみませんか**
運転、事務所の作業や活動、ポスター貼り、パソコンなど様々なかたちで、お力と時間を貸していただければ幸いです。楽しく有意義な活動を一緒にできればと存じます。

お仲間の集まり、趣味やスポーツの会、酒場での会合、何でもどこへでも駆けつけます。是非声をかけて下さい。

**ミニ会合と
ホームミーティング**

サポーターの集りです。池田元久と一緒に政治や身近な問題を考え、それぞれの立場で応援し、親睦も深めようと結成されました。役に立つ会、楽しい行事を予定しています。ご支援と交流の輪を広げていただければ幸いです。

**21世紀の会と
池田元久と**

**ご一緒に参加
しませんか**